

2025年度くわな幼稚園/認定こども園くわな\_学校関係者評価シート

<b>教育目標</b>	自然に親しみながら創造的に過ごすことのできる人間を育てる
<b>重点目標</b>	園児の活動に対する意欲を高めるために心情を受け止め、その延長線上の態度を育成する
<b>重点課題</b>	園児の創造性を高める活動の設定にあたり、各教員のさらなる創造性を発揮し得る職場環境を作る 園児の創造性を高めるとき、家庭を支える家族の理解と協力の在り方を精査し、進める。特に保護者のエゴと需要の違いを見極める 園児送迎時の安全を確保する一環として、スクールバスのより安全な運行をはかるための方策を練り、実施する

凡例  
4=◎  
3=○  
2=△  
1=×  
0=××

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
心情	保育者	指示ではなく理解を寄せる	4.00	指示ではなく提案をし子どもが自分で考えられるようしている	積極的な子どもと、話すのが苦手な子がいる中でやりとりの差が生じているのではないか。大人しく、話が得意ではない子に対するの関わりを増やしてほしい。伝え上手な子どものやりとりがメインになっている気がする。
		子どもの言葉にうなづく	4.00	よく話を聞き、思いをくみとるようにしている	
		子どもの言葉を聞き逃さない	4.00	言葉のやりとりを大切にしている	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
意欲	保育者	適切な教材などの環境を準備する	4.00	季節や子供の成長に合わせて準備している	行事に対して先生方のがんばりは伝わってくるし、子ども達もそれを感じて喜んでいる様子。
		言葉を拾って広げる	4.00	言葉を聞き、さらに広げたり深めたりするような関わりをしている	
		成果を喜ぶ	4.00	子どもと同じ気持ちになって喜ぶようにしている	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
態度	保育者	動機の高まりを受け止める	4.00	子どもの日々の活動や生活に対する気持ちをくみとっている	「子どもに任せる」項目に関して先生の任せる度合いが人によって違う。よくわからないまま子ども同士で完結するのではなく、側で見守りながら子どもにアドバイスや仲裁に入ってほしい。
		集中力の行方を見定め助長する	4.00	1人ひとりの能力に応じた援助を心掛けている	
		任せる	4.00	個人や仲間と共に生活を進めていけるよう子どもの力を育てている	

教員自己評価

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
1	園の教育理念や教育方針を理解している	園のねらいにそった保育をしている 園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる	3.65	主体性を大切にし、主任会やミーティングで話し合う機会を設けている	
	園の教育方針に共感している				
	園の方針、園長の考えについて園長や教職員と話し合っている				
	園のねらいにそった保育をしている				
	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる				
	幼稚園教育要領を理解していると思う				

I 保育の計画性	2	幼稚園教育要領について、園長や教職員と話し合っている 幼稚園教育要領について、幼児の姿や環境の構成、教師のかかわりなど具体的な事例を想起できる	3.52	子どもの姿を照らし合わせながら、職員内で共有をしている	
	3	園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神をふまえて園の教育理念・教育方針にしたがい編成している 園の教育課程を理解していると思う 園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている 園の教育課程は園長が中心となり、教職員と協力しあって編成している 園の教育課程は社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	3.61	教育課程をもとに、保育の流れや活動を考えるようにしている	
	4	園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている 指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態などをもとに考えて作成している 指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している 長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しをおこない、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるように作成している 短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、自由に変更できるような順応性のあるものになっている 指導計画は総合的な活動ができるように考慮し作成している 幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態に合わせて精選している	3.62	子どもの姿を予想したり、普段の姿を観察したりして活動を考えるようにしている。毎年同じものではなく、活動を変えたりして変化をつけている	事前の準備、目的の冊子、導入もなしでかまわないので2月後半にあった公開保育を増やしてほしい。発表会が終わった後の団結感のある普通の様子を見てみたい。回数を増やしてほしい。
	5	安全で清潔感のある環境構成をしている 指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている 幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている 幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をしている 遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している 楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている 幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている 幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している 幼児の発想を柔軟に取り入れて保育室の装飾や展示を考えている 教師の願いや意図をもって環境構成をしている 幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている 季節の変化に応じた環境構成をしている 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	3.73	子ども自身の興味が広がるような材料や環境を置くように工夫している	跳び箱、鉄棒は子どもがもっと取り組めるように配置してほしい。興味を持たせるように。数年前はもう少し体を使って遊ぶ子が多かった。遊びのレパートリーを増やしてほしい。
	6	自分の保育と計画の評価・反省を、行うようにしている 評価・反省は観点を定めて行っている 自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている 自分の保育を他の教師たちにも見てもらい、それをもとに検討している 互いに保育をみせあって、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている	3.53	活動のねらいにそって進められたか、子どもの姿がどうだったのかを振り返るようにしている。他の教師に保育を見てもらう機会は今後欲しいと思う	
		朝の登園時は特に視診を大切に幼児の体調が悪くないかを確かめている			

II 保育のあり方、 幼児への対応	1	<p>体調が悪そうときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い適宜、家庭へ連絡している</p> <p>けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や言葉かけを行っている</p> <p>万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらするなど適切な処置を行っている</p> <p>園内に危険な箇所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかなどを常に観察している</p> <p>危険が予測される場合は、幼児と一緒に見たり、考えたりなどして、安全な使い方や遊び方について気付くことができるようにしている</p> <p>クラスの中の水道付近の清掃や、換気、採光、室温などに気をつけている</p> <p>トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を具体的に示している</p>	3.87	<p>子ども達の安全を第一に考え、生活や遊びの中でも安全確保に努めている。万が一、怪我があった場合は、他の先生に共有し、処置をすぐに行うように努めている</p>	
	2	<p>一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている</p> <p>幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている</p> <p>幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている</p> <p>見えないところで活動している幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することが出来る</p> <p>一人の幼児をじっくりとみながら、周囲にも目を配ることが出来る</p> <p>幼児のこれまでの姿、今の姿から、これからの活動がある程度予想することが出来る</p> <p>個々の幼児の発達や課題について見通しを持って理解できる</p> <p>幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる</p> <p>幼児たちがいま興味や関心を持っていることがわかる</p> <p>幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている</p> <p>幼児の理解のために保護者と話し合うことがある</p> <p>幼児の姿を、家庭での生活をふまえて理解している</p> <p>幼児の姿を多面的にとらえることができる</p>	3.70	<p>個々の成長を確実に知るために、それぞれ関わる時間を設けるようにしている。また、子供の成長は各々であることを理解し、幼児の姿を日々、観察することに努めている</p>	<p>両者の話を聞いてほしい。家に帰ってから、親に泣いて話すことがあった。話すのが得意な子どもうまく伝えられない子、ちゃんと言葉を拾って欲しい。はいチーズ写真の写り具合に個人差がある。全員が写るよう努力してほしい。</p>
	3	<p>幼児に合わせて同じように動いてみたり、同じ目線にたつてものを見つめたりしている</p> <p>幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる</p> <p>一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている</p> <p>幼児からのアイデアをくみとって遊びを深めている</p> <p>「先生のようにやってみよう」と幼児が思うような、モデルとしての姿を心がけている</p> <p>教師らしい品位ある言葉、正しい日本語の用法を心がけている</p> <p>幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている</p> <p>善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でもモデルとなっている</p> <p>幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている</p> <p>幼児とのスキンシップをとるようにしている</p> <p>幼児一人ひとりのよさを認めるようにしている</p> <p>幼児の話をよく聞くようにしている</p> <p>幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している</p> <p>幼児の年齢に応じたわかりやすく聞き取りやすい語りかけ方をしている</p> <p>幼児が行き詰っている時に、適切な援助をしている</p> <p>幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている</p> <p>幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしている</p> <p>禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている</p>	3.64	<p>子ども一人ひとりの声に耳を傾け、言葉を受け入れ、共感するようにしている。また、個々の性格や特徴を理解し、その子どもにあった接し方を心掛け、心も身体も健康でいられることを重要視している</p>	<p>朝の戸外遊びが長いと、寒い日は部屋に入りたくなるので、中に入ると、外に出るよう促される。寒くても戸外にいけるよう、上着の着用を許可してほしい。</p>

	<p>“一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考えながらかかわっている</p> <p>幼児同士のトラブルに対し、両者の話を聞いている</p> <p>幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児を無視したり、体罰を加えることとはどのような場合もしていない</p> <p>幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている</p>			
4	<p>クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている</p> <p>クラス的环境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換している</p> <p>幼児のことについて常に保育者同士で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している</p> <p>教職員全員が、すべての幼児についてある程度理解しているようさまざまな工夫をしている</p> <p>指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で特によく話し合い、共通理解をもって、対応するようにしている</p> <p>「認知」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「記憶」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「評価」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫をしている</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちがかかわれるよう、さまざまな保育の形態を取り入れている</p>	3.65	<p>学年やクラスを越えて遊びや会話を楽しむことで、子ども達の成長を理解する良い機会となっている</p>	
III 教師とし	<p>幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けている</p> <p>より高度な専門知識や技能を身に付けようと研修している</p> <p>幼児の性格や個性を把握するよう努めている</p> <p>保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている</p> <p>仕事の手順をよく考え、能率よく行っている</p> <p>幼児が考え、感じていることがある程度予測できる</p> <p>保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている</p> <p>幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない</p> <p>幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにする</p> <p>朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている</p> <p>感謝の気持ちを言葉などで表わしている</p> <p>園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにする</p> <p>服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている</p> <p>保育にふさわしい服装を身に付けている</p> <p>自らの健康に、十分に気を配っている</p> <p>爪の管理をしている</p> <p>子ども(担任外も)と保護者の顔や名前が一致する</p> <p>担任する、子どもの性格を把握している</p> <p>職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている</p> <p>幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない</p> <p>園の重要書類を無許可で持ち出していない</p> <p>教材、教具の管理、点検に気を配っている</p> <p>クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している</p> <p>現金は管理せず、事務所に預けている</p> <p>締切りのある仕事や提出物は締切日を守っている</p>	3.34	<p>教諭と保護者の一線を越えないよう常に丁寧に、かつ誠実な対応を心掛けている。また、保育や環境に害や問題のない言動に気を付け、園のルールに従って、仕事をするに努めた。</p>	<p>担任以外の保護者に対して対応の差がある。挨拶もしない人がいる。困っている。スルーされることがある。</p>

ての 資 質 や 能 力 、 良 識 、 適 正	同僚や園の批判を軽はずみにしていない			
	教職員全員でひとつのチームであることを意識している	2	3.80	<p>・互いに助け合う気持ちを常に持てるよう言葉にして気持ちを伝える(お願い事やお礼)ようにしている・フルタイムスタッフはタイムスタッフの協力があってこそ成し遂げられる日々の保育に感謝できるよう各々が意識できるよう言葉をかけていく・会議では方法や進め方など、保育で困る事、難しいと感じる部分を具体的に出し合い、皆で共有、実践するようにする・日々の生活で、上司、先輩の意識を持ちつつも、互いの変化に関心を持ち、声を掛けやすい環境をつくっていくように心掛ける・守秘義務を守るよう心得る・クラスを越えて職員、園児の姿を共有していく(学年間でも)</p>
	学年をまとめようと努力している			
	「この先生はこの程度だから」と同僚の評価を固定していない			
	会議や打ち合わせは時間を厳守している			
	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる			
	自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している			
	会議のときは自分の意見や質問を前もって考えている			
	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をしている			
	係の仕事は確実にこなしている			
	教職員と親しくつき合い、偏った人間関係を作っていない			
	上司の指示、命令には責任を持って実行している			
	上司や先輩に対しては敬語を用いて話している			
	教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない			
	園のことを、みだりに、他へ話してしていない			
主任、もしくは上司は、自分の利益より全体の利益を優先していると思える				
主任、もしくは上司を尊敬できる				
同僚の問いかけに無視することなく、答えている				
自分の思いや考えを他人に理解しやすいように伝える努力をしている				
3	<p>幼児と会話をしたり遊んだりするのが好きである</p> <p>幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる</p> <p>幼児と一緒に苦しんだり考えたりすることができる</p> <p>幼児と一緒に生活を創りだすことが楽しい</p> <p>特に配慮を要する幼児が望ましい方向へと変容していく過程に喜びを感じる</p>	3.86	日々少しずつ成長している姿に喜び、園児と共に過ごすことが出来る環境に感謝し、より良い成長の促しを探っていく	
4	<p>幼児や教育に関する情報をたえずとらえようとしている</p> <p>幼稚園や幼児のことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある</p> <p>幼稚園の仕事の他に、多様な趣味を持っている</p> <p>自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている</p> <p>地域のことに関心がある</p>	3.66	園外保育(散歩)を大切にしている・地域の様子は常に把握できるようにする・教育等々に限らず様々な情報は容易に得られるため精査しながら関心、興味を深めていく	
1	<p>クラスや子どもの様子、自分の考え、保育のポイントなどをクラスだけで知らせている</p> <p>欠席の場合は電話連絡をしている</p> <p>個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝えている</p> <p>保育参観や保護者を開いて子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努めている</p> <p>場合によっては個別に保育の様子や子どもの様子を見てもらったり、保護者と話し合ったりする</p> <p>いつでも個別懇談が行える体制であることを保護者に伝えている</p> <p>自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞いている</p> <p>「認知」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「記憶」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「評価」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p>	3.35	<p>毎日の連絡帳ではクラス活動の様子を簡潔に伝えている・個々に伝達、確認が必要な場合は対応している・園は常にオープンな状態である・保護者から要求があれば、園見学、個別懇談、行政機関との連携は早急に行うようにしている・個別対応を必要とする時は園全体で把握、対応できるようにする(会議で共有)</p> <p>連絡帳の頻度が少ない。先生によって内容に差がある。保育参観を増やしてほしい。みんな何かをすることもいいけど、普段の様子(外で自由に遊んでいるところなど)も見てみたい。保護者会の時期が、新学期始まってすぐで、先生も子どもの事をよくわかっていない感じがするのでもう少し後がよい。いつでも個別懇談が行える体制であることを知りませんでした。</p>	

IV 保護者への対応	必要に応じて、ビデオ、写真、イラストなどさまざまな方法で分かりやすく伝える工夫をしている			
	保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視しないで、園長や主任、学年主任等に報告や相談をしている	2	3.73	クラス中での保護者からの意見等は主任→学年担任→園長→主任会→全体職員へと報告、相談し、解決へと進めていく・保護者の協力が必要な場合はエビデンスに基づき話し合っていく
	保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている			
	保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている			
	保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている			
保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている	3	3.96	守秘義務を守り、教育保育の中で必要な際に保育者間で情報を共有している	
個々の子どもの情報は口外していない				
保護者、家庭の情報は口外していない				
4	「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない	4	3.79	挨拶について…研修を行い、元気に明るくスタッフ同士、保護者の方によりよい印象を与えるよう努めている・言葉遣いに気を付け、子どもの見本となるよう気を付けている→保育者間でも気が付いたことがあれば伝えて改善していく
	親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない			
	電話は相手が見えないために誤解が生じやすい。手短かに、簡潔に要領よく、対話することを心がけている			
	保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない			
	長期の欠席や入院等の場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている			
	園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや会話を心がけている			
	保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している			
保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	5	3.81	真摯に受け止め、園全体で共有し、よりよい対処法を探っていく	
クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対処している				
V 地域の自然や社会とのかかわり	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	1	3.28	散歩時、近所の方に挨拶をしたり、交通機関(電車)を楽しんだりしている→今後はより、地域の自然や機関について興味を持ち指導計画の中で位置づけられるといい
	地域の自然や主な施設の場所、交通機関、主な行事等について、ある程度理解している			
	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している			
	地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をしている			
	小学校の教育内容について理解しようとしている	2	2.7	積極的には理解できていない部分も多いので、広い目を向けて知識を得るようにしていく
	卒園した子どもの情報を得るように努めている			
地域の小学校の行事や公開授業に関心をもっている				
地域開放や子育て支援について具体的な形や内容を理解している	3	5.57	理解するよう努める	
地域開放や子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合っている				
1	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している	1	3.07	常に教育への関心を高め、自分自身の保育の振り返りは行うように努めている
	研修会や研究会に参加する場合は事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめている			
	研修会や研究会では活発に発言している			
	専門書や専門雑誌を読んでいる			
	研究保育を参観するときは自分なりの課題と視点をもって観ている			
	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行っている			
	自分の保育のあり方や悩みについて、他の教師や主任、園長と話し合っている			
	他園の見学をしたり、公開保育を観てみたりする機会をいつも探している			
子どものみとりと内面理解について研修・研究を行なっている				
指導計画の作成や記録の取り方、考察のあり方に関する研修・研究を行なっている				

VI 研 修 と 研 究	2	環境構成・再構成のあり方について研修・研究を行なっている 指導とかかわりのあり方について研修・研究を行なっている 自分なりの幼児観・保育観の確立のための研修・研究を行なっている 確立された幼児観・保育観について客観的に見つめるための研修・研究を行なっている 保育者同士の協力・連携のあり方について研修・研究を行なっている 自らの得意分野を確立するための研修・研究を行なっている 良識・常識・義務・マナーなどに関する研修・研究を行なっている 保護者への対応のあり方について研修・研究を行なっている	3.16	新年度前の研究は必ず参加しているが、自分から研究の会に参加できてはいない	
	3	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方の研究をしている 園の遊具や教材についてさまざまな利用方法について研究している 園の遊具や教材について子どもはどんな使い方をするのかの研究をしている 園の遊具や教材についてどのような使い方が危険かの研究をしている	3.40	園の遊具や教材については、保育者同士で話し合ったり、有効に使えたりできるようにしている	
	4	園舎の構造(平屋、二階建て、三階建て)や保育室・遊戯室の位置・大きさなどが持つ特質が、幼児にとってどのような教育的な意味を持つかについて理解するための研究をしている 園庭や農耕栽培地、砂場、通路、池、かくれ場所などの位置、広さなどが幼児にとってどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に生かす研究をしている 園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かす研究をしている 園内の環境を、いくつかのまとまりや関連性を持たせて保育の計画・実践に生かす研究をしている	3.20	子ども達の生活に教育的な意味を考え続けている。研究までにはいかないことが多い	
	5	子どもを取り巻くさまざまな状況が変化してきていることについて学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態はどうであるかについて理解したり、学習したりする研究をしている さまざまな変化の中で、幼児にとって何が問題であるか、幼稚園としてはそれに対してどのような教育を行なわなければならないかについて考えたり学習したりしている クレームの対応についての勉強会をしている アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について研究している 障害のある幼児に対処する保育のあり方を学習している 預かり保育や子育て支援などのあり方・考え方について、学習している チーム保育について、その意義やあり方について研修・研究している 幼小連携について、その意義やあり方について研修・研究している 危機管理について、現状やあり方について研修・研究している	3.23	保育についての学びを深めていけるよう考えているが研究まで至っていないことが多い	
	6	趣味・人とかかわりなど、うるおいのある生活を心がけている 保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある 尊敬する人の話はぜひ聞きたいと思っている いろいろな人と意見を交換し合いたいと思っている	3.70	保育以外の面においても興味・関心を広げ健康的な生活を心がけている	

運転スタッフ自己評価

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 計 画 性	1 園の教育理念や教育方針を理解している 園のねらいにそった対応をしている 幼稚園の名称(看板)を付けて運行することを意識している 作業点検を実施している	3.58	常に幼稚園の看板を背負って運行している	
	2 幼児に教育上不適切な言葉がけをしていない			

	3	楽しい雰囲気の中で安定して過ごせる環境構成をサポートしている 幼児の活動がより豊かになるように、言葉を添えている	3.67	している	
	4	自分の運転の評価・反省を自分自身で行っている	3.50	行っている	
II 現場のあり方（対応と技術、運用）	1	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な言葉がけを行っている 万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらするなど適切な処置をとるべく行動している。またはその心の準備がある 幼児にとっての危険の排除を意識して行っている スクールバスの中の清掃や、換気、採光、温度に気をつけている	3.69	行っている・バスの車内の清掃は毎朝出発前に行っている	夏、汗だくで降りてくる。
	2	幼稚園勤務者らしい品位ある言葉、正しい言葉の用法を心がけている 幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしていない 善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でモデルとなっている	3.42	している	
	3	幼児の話をよく聞くようにしている 幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉がけをしている 極端な禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度をとっていない 教師の援助に進んで取り組んでいる（行事における机、いす移動など） 教師の進める活動と無関係に子どもと遊んでいない 幼児を無視したり、体罰を加えることばのような場合もしていない 幼児の気持ちを不必要にあおっていない	3.57	子ども達に声掛けをしてコミュニケーションをとり楽しい通園になるよう心掛けている	
	4	指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で共通理解をもって、対応するようにしている バス停に停車時、園児以外の子どもの巻き込みを確認している バス停の停車位置の変更には上司や担当教諭と相談している バス停に、バスが到着時、扉をあげるための「よし」を教諭に伝えている 左折時の左巻き込みに、注意を払っている 路肩走行をしていない 雨天時、曇天時には適宜、ライトを点灯している 路地の走行では、子ども等の飛び出しに留意している 住宅地内の「とまれ」の標識のない交差点は最徐行、もしくは一旦停車している 幼稚園正門に進入時、門が開いている場合は停止している 幼稚園正門を出発時、担当者が出発回を確認している 幼稚園正門を出発時、門の閉鎖を確認してから発進している 幼稚園出発にあたり、園児の乗車を補助している 年度初めのバスコースの編成にあたり、提案している 走行するうちに不都合と気付いた経路などを上司や担当教諭に提案している 渋滞や工事回避などの臨機応変のコース変更を本部へ連絡している 一日の終わりに、清掃を実施している 一日の終わりに、外回りの点検を実施している ダイヤより安全を優先している スピード違反をしていない 黄色の信号で進んでいない 定刻に出発している	3.48	バス停に停車する時は十分に減速し、低スピードで進入している。また、発進時にもアイドリング状態でゆっくり発車することを励行している・運転士会にてデジタコの評価をもとに各々の欠点を探り、幼稚園の看板に恥じない運行に努めている・車内の清掃、消毒、換気等、衛生面には気を配り感染予防に注意を払っている・急ブレーキ、急発進等「急」のつく動作をしないようスムーズな運転をこころがけている	ゆっくり走行していて、安全に運転してくれていることを感じる。
		仕事の時間外でも幼稚園勤務者としての誇りと自覚を持った言動と行動を心がけている 幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている 朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている 感謝の気持ちを言葉などで表わしている 園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしている			

III 職員としての 資質や能力、 良識、適正	5	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている	3.54	沢山の園児がみえるので全員の名前を認識することは難しいが、できるだけ多くの園児の名前を覚えるように努力している・健康管理には十分注意している・不調であればすぐに病院へ行き診察してもらっている	子どもに安心を与えられるようなコミュニケーションをとっている様子が見られない。
		運転職としてにふさわしい服装を身に付けている			
		自らの健康に、十分に気を配っている			
		爪の管理をしている			
		保護者の顔や名前が子どものそれと一致するよう心がけている			
		職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている			
		幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない			
		園の重要書類を無許可で持ち出していない			
		備え付け用具の管理、点検に気を配っている			
		バスの中はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している			
		現金は管理せず、事務所に預けている			
		6			
他の人の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べている					
自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している					
園内、車両内禁煙を励行している					
教職員や園の批判をしていない					
教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない					
7	園のことを、みだりに、他へ話してしていない	3.50	子どもの気持ちに共感するようにしている		
	幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる				
IV 保護者への 対応	1	保護者との会話は「です」「ます」で行っている	3.00	保護者の話を十分に受け止め、聞くようにしている	
		保育参観や懇談会は子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得よう努める行事であることを理解している			
	2	保護者からの相談ごとは、自分だけの判断で返答せず、ほかの職員や職員室に伝えている。	2.94	疑問に思ったことはすぐに返答せず、学年、園で共有する	
		保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことでの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている			
		保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている			
	3	保護者の協力が必要な場合は、上司と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている	3.83	職員室で保管している。書類などを持ち出す際は、学年、園で共有する	
		保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている			
		個々の子どもの情報は口外していない			
	4	保護者、家庭の情報は口外していない	3.65	男女などの区別をせず言葉を置き換えて声掛けをしている	
		「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない			
		朝、バス停に近づくごとに会釈している			
		保護者の国籍、思想、宗教または職業により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない			
自分の領域でない質問に無理に答えようとしていない					
保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどして対応している					
5	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、上司に連絡、報告、相談している	3.38	全体で共有して判断する		
	幼稚園駐車場では、保護者車両の通行優先を実行している				
地域との かか	1	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	3.25	明るく挨拶を心がけている	
	2	他の幼稚園、保育園のスクールバスに会釈をしている	3.75	敬意をもって会釈している	
1	自らの運転のマナーや方法について、自問している	3.60	バス出発は先生の「オーライ」の合図で出発するが、十分条件として自らもミ		
	速度の出しすぎに注意している				
	他の走行車両に迷惑にならないように配慮している				
	地元の生活道路を通行「させてもらっている」という認識を持っている				

VI 研修と研究	1	発進と停車をスムーズ行うべく、心がけと検証をしている バス停で、バス出発時、園児の着席を確認している 停止線で停止している バス走行中に運行に必要な言動以外はしていない	3.99	ラーで園児が安全に着席したかを確認してから出発している	
	2	教諭との会話でパワーハラスメントととられる言動をしていない 教諭との会話でセクシャルハラスメントととられる言動をしていない 朝の出発にあたり、教諭と朝の挨拶を交わしている 良識・常識・義務・マナーに留意している	3.94	言葉遣いに気を付ける	
	3	園の遊具や教材の使い方の危険性を理解している	3.60	遊具点検をしている	
	4	アレルギー、自立の遅れなどの問題について理解しようとしている 障害のある幼児に対処する保育のあり方に理解を寄せている 危機管理について、現状やあり方について研修・研究している	3.42	研修を受けたり、園内の様々な職種で共有したりしている	

行事を通して

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
入園式	保育者 幼児の行動を見守りながら適切な援助を行うようにする。	3.90	子どもの目線に立ち、子どもに寄り添い、観察して安心してもらえるよう声を掛けた	に寄り添い、手遊び歌などで安心して式に臨める環境づくりが良かった。
	幼児 温かい触れ合いの中で、存在感、充実感を味わう。	3.90	パペットを使って、緊張を和らげ、保育者が笑顔になることで安心できる雰囲気を作った	歓迎されているという安心感を抱いているような雰囲気作りがしてあった。自分の居場所を実感できるような配慮があった。
	保護者 幼稚園と共に幼児を育てるという意識を高める。	3.90	保育者が一人ひとりに笑顔で挨拶し、温かく迎え入れた。	共に子どもの成長を支えていくという連帯感を抱けるような、心のこもった対応だった。

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
始業式	保育者 進級の喜びや不安を受け止め、信頼関係を築く一歩であることを意識し一緒に遊び、一人ひとりの行動を見守りながら援助を行う。	4.00	新しいパッチになったことを一人ひとりに声を掛けたり、様々な気持ちを受け止めるようあしき掛けをしたりするなどとして、あそびや活動を進めた	
	幼児 新しい友達や先生と共に過ごすことの喜びを味わう。先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。	4.00	新しい部屋や新しいマークなどについて触れ、これからの生活に期待が持てるようにした	
	保護者 新しいクラス、先生を知り、信頼関係の基盤作りをしていく。	4.00	教育方針をプレイルームで聞いて頂いたり、1年のテーマや抱負を伝えるようにしたりして、共に育てていく認識を共有した	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
避難訓練1学期	保育者 ・あわてず、安全を第一に子どもを非難させることができる。 ・消火設置場所を確認し、知ることができる。	3.75	・事前に避難の仕方や消火器の設置場所について会議で周知したことにより、落ち着いて行動でき、子どもたちには分かりやすく伝えることができた ・消火器の使い方を「ピン、ボン、パン」と学んだ	
	幼児 ・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。 ・訓練ということを理解して、怖がらずに避難することができる。 ・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することができる。 ・怖がらず階段を降りることができる。	3.92	・乳児クラスは上手くダンゴムシポーズが取れずにいたので、遊びの中で繰り返し行い、慣れることができるようにする ・通園バッグを被ることに抵抗のある子がいたが、訓練の意味を伝え、避難場所まで緊張感を持ち歩くことができた	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
公	保育者 ・幼児の主体的な活動を促すために保育者は多様な関わりが必要であることを踏まえ、幼児の情緒の安定や発達に必要な豊かな経験が得られるよう、活動の場面に応じて適切な援助を行う。	3.90	・子どもたちが何に興味を持ち、楽しめるものとは何か考え、どのようなことを遊びを通して身に付けることができるか道筋を立てて進めた。	

開 保 育 6 月	幼児	・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。自然などの身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ。	3.90	・遊びが広がるような環境を整えておき、自分で取り組んだり友だちと協力して行ったりして活動に積極的に参加できるようにした。
	保護者	・日々子ども達に関心のある出来事や様子、活動内容をあらゆる手段を考え、伝え、安心して園に子ども達を任せられるという環境づくりをする。	3.80	・子どもたちの普段の様子や公開保育までの流れと今後の遊びの進め方を保護者へ伝えた。

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
プ ール 遊 び	保育者	・安全管理を十分行いながら、水遊びの楽しさを知らせる。	4.00	・安全面に十分留意しながら、楽しみを感じながら取り組めるようにした。また、体操で行ったことを取り入れた。	
	幼児	・少 水に慣れて遊ぶことが出来る。 ・中 水に慣れて顔つけが出来る。 ・長 伏し浮きが出来た。	4.00	・子ども一人ひとりの様子を見ながら、遊びを取り入れて、少しずつ慣れ親しんでいった。また遊びを通して、水への怖さを減らしながら出来ることをふやした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
お 泊 り 保 育	保育者	・安心して参加できるよう子どもに寄り添い安全面に配慮し取り組む。	4.00	様々な気持ちに寄り添い、年長児であることを配慮し、考えたり悩んだりできるような声掛けをした。常に子どもの姿を確認し、職員や担任に共有するようにした	
	幼児	・友達と泊まれたことに、充実感を味わう。 ・身の回りのことを積極的に言い、自立の心を養う。	4.00	泊まれたことを喜んだり、自信につながるような声掛けをした	
	保護者	・子離れの経験をし、幼児の成長を喜ぶ。	3.75	変わった様子があれば、直接か電話で伝えるようにした	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
新 入 園 児 面 接	保育者	・個々の子どもを知る手立てとする。動き、言葉、視線など違和感、発達の遅れを見つける。	3.90	動きや言葉などその場で見て後で振り返ることで共有することができた	
	幼児	・幼稚園の雰囲気を感じる。遊びに参加することが出来る。	4.00	温かな笑顔で迎え、少しでも安心して遊ぶことができるよう言葉を掛けたり、優しく遊びに誘ったりした	
	保護者	・園に信頼を寄せられる	4.00	保護者の方の質問に真摯に耳を傾け、答えた	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
ス ポ ー ツ	保育者	・皆で体を動かすことを楽しみ、達成感を持たせる。	4.00	1人ひとりに寄り添いながら、保育者も子どもと一緒に身体を動かす子ども、子どもの意欲・達成度を持てるようにした	

ツフェスタ	幼児	・体を動かすことの嬉しさや楽しさを味わう。	4.00	・個々の一つ一つを認め自ら沢山動けるようになった ・他学年のスポーツフェスタを見て一緒に踊ったり歌ったりした
	保護者	・集団との関わりを通して子どもの成長に接する。	4.00	手を子どもが振る姿を見て、親から離れたありのままの姿を共有できた

目立った。

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
給食をお家の人と一緒に食べよう会	保育者	・楽しい雰囲気の中で給食を食べることができるような雰囲気をつくる	4.00	楽しい雰囲気であることができるように、保護者や子どもたちの気持ちを十分に受け止めたり、声を掛けたりするようにした
	幼児	・保護者や友だちと楽しく食べることができる	4.00	保護者や友だちと楽しく食べることができるように、席を向かい合わせにしたり、保護者と仲の良い友だちと一緒に食べることができるようにした
	保護者	・子どもや他の保護者との交流を楽しみながら給食を食べることができる	4.00	保護者や子どもと交流が出来るように、席を工夫したり、給食に触れてもらえるように冊子などを準備したりして、普段食べている給食に興味をもってもらえるようにした

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
交通安全指導	保育者	・緊張感を持って参加する	3.90	・担任によって子どもが歩いている時の言葉のかけ方に差があった ・子どもがまとめて横断すると方法や気を付ける事を丁寧に伝えられない事が増えてしまったので年長児を対象として丁寧にすることが良い
	幼児	・交通ルールを知り、守ろうとする気持ちを持つことができる。 ・おまわりさんの話を聞くことができる。	3.50	・日ごろの保育活動の中で絵本等で交通安全に触れ、園外保育で実施することを繰り返しているため、子どもたちは交通ルールをよく理解している

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
避難訓練2学期	保育者	・慌てず、安全を第一に子どもを非難させることができる。	3.90	・訓練を重ねることによって保育者はスムーズに避難させることができるようになった ・消火器を持って非難する習慣がついた
	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。訓練ということを理解して、怖がらずに避難することができる。 ・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することができる。怖がらず階段を降りることができる。	3.9	・訓練の意味や内容を理解して臨むことができている ・「おかしもち」の言葉を覚え、言葉にして確認しながらスムーズに避難する事ができるようになった

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
クリスマス会	保育者	・クリスマスの楽しい雰囲気を作り、夢をもたせる。	4.00	・クリスマス製作や電飾などを見て当日を楽しみに迎えられるように過ごした。 ・クリスマス会に向けて日頃から、歌を歌ったり飾りを作ったりして、クリスマスへの気持ちが高まるように子ども達と過ごした。
	幼児	・絵本や物語などに親しみ、興味を持って想像する楽しさを味わう。	3.90	・絵本を見たり製作をしたりしてクリスマスというものを思いっきり楽しめるようにした。 ・クリスマス会に参加し、サンタクロースの話を聞いたり、歌を歌ったりして楽しい雰囲気を感じた。

ねらい		達成度	課題・対応	評価委員の考察
保育者	・幼稚園生活の自然の流れの中で生活に変化や潤いを与え、幼児が主体的に楽しく活動出来るようにする。 ・発表会をみんなで一緒にする達成感を体験させる。	3.90	・子どもたちの思いを聞いたり、話したり、イメージを膨らませて取り組むことができた	

学習発表会	幼児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたこと、考えたことを自分なりに表現して楽しむ。</li> <li>・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。</li> <li>・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。</li> <li>・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。</li> </ul>	4.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの声を聞きながら進めることで曲や道具などを使い、表現のイメージを深め、楽しさや充実感を味わった</li> </ul>
	保護者に対するねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年の集大成として子どもの成長を目の当たりにすることで親の成長を助長する。</li> </ul>	4.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台上の子どもの姿を見てもらうことで年度末の姿、園でのびのび表現している姿を見てもらえた</li> </ul>

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
お別れ会	保育者	もうすぐ年長児やクラスの友達とお別れということを知らせ、みんなで過ごす時間を楽しませる。			
	幼児	お別れ会に楽しく参加する。別れだけでなく成長を感じる。			

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
卒園式	保育者	大切な時間を共に過ごし温かく送り出す。小学校生活へ興味、関心がもてるように促す。			
	幼児	長 限られた時間の中で、一つ一つの体験を大切にし、ともに楽しみ共感し合う。 在 様々な関わりを通して年長児の卒園することを知り、親しみや畏敬の念を持つ。			
	保護者	子どもと共に成長の区切りを知り、地域、家庭の新しい生活のリズムへ配慮する。			

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察	
外の活動	保育者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やりたいと意欲を持てるような声かけや援助を行う。</li> <li>(わく・年少)取り組めた姿勢を十分に認め見守りながら適切な援助を行う。</li> <li>(年中・長)主体性を大切にし、自信につながるような言葉かけ、援助を行う。</li> </ul>			
	幼児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊びをやろうとする。</li> <li>(わく・年少)自分の力で行動することの充実感を味わう。</li> <li>(年中・年長)身近な物や器具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。</li> </ul>			